

行政視察報告書

令和6年5月30日

長浜市議会議長 中川 勇 様

長浜市議会議員 中川 リョウ



私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和6年度議会運営委員会行政視察研修
2. 視察期間 令和6年5月20日(月)～5月21日(火)
3. 視察場所及び目的
 - ①長野県伊那市 ・ 長野県伊那市 議会改革の取り組みについて
 - ②長野県駒ヶ根市・ 議会改革・議会機能向上推進委員会の取組について
4. 調査内容感想等

・視察の目的

- ①長野県伊那市 ・ 長野県伊那市 議会改革の取り組みについて
- ②長野県駒ヶ根市・ 議会改革・議会機能向上推進委員会の取り組みについて

・視察内容

長野県伊那市 議会改革の取り組みについて

■主な取り組みについて

令和元年に伊那西高校、伊那弥生ヶ丘高校生徒の議会傍聴を実施、意見交換会
他にも伊那市中学生キャリアフェス 2019 にも市議会でブースを設けて参加
した。

なぜ？ 議会議員選挙が無投票で実施され、担い手不足の危機感を持った。

令和2年に議会改革特別委員会の設置

■具体的な内容

請願・陳情の審査方法の見直し

どういった趣旨で請願・陳情をされているのか、意見聴取の場を設定

予算・決算審査の見直し

決算・予算の特別委員会を設置

議会基本条例の見直し

議会基本条例の見直しが制定以降されていなかったなので一部改正をした

令和 4 年 議会改革特別委員会を設置

具体的な取り組み

市民参加の強化

政策サポーターの導入

議会機能の強化

所管事務調査のガイドラインを策定

政策サイクルの導入

政策提言へ

令和 5 年度は高校生とのグループ懇談 (7 グループ 生徒 4～5 名)、請願書の提出に至っている。市民との意見交換会は常任委員会を中心に 3 会場で実施

■オンライン委員会の開催に向けての要綱等の整備について

総務省自治行政課長通知では条例や会議規則の改正により、オンライン委員会の開催ができる旨の連絡あり

運用に向けて

出席要件、②委員会の運営、③公開と傍聴、④表決、⑤情報セキュリティ対策、⑥議事録、⑦執行部の対応、⑧その他必要な事項を整備

委員会条例、会議規則の改正とオンライン委員会開催要綱を制定。

オンラインを活用した会議等

令和 4 年 1 月 25 日 経済建設委員会協議会

令和 4 年 7 月 26 日 ICT 推進委員会

令和 4 年 12 月 5 日 政策討論会

令和 5 年 6 月 14 日 オンライン行政視察（会津若松市議会へ）

令和 6 年 1 月 17 日 災害訓練

Q & A

協議等の実績ししかない。体調不良での欠席の場合はオンラインを活用する。
課題はオンライン会議の録画

市民との意見交換会は参加者が少ない状況ではあるが、開催日時では昼間の時間帯の活用や土日も検討している。テーマも参加が増えるように設定している。

議会改革特別委員会を中心に議長への答申をしている。若者、女性、子供の参画を促すために政策サポーター制度を導入した。政策サイクルの導入趣旨説明の場を設定している。

議員選挙の無投票を受けて、担い手確保のために実施している。高校議会については議長、事務局長が直接高校へ出向いてお願いに行っている。

長野県駒ヶ根市

議会改革・議会機能向上推進委員会の取り組みについて

- 議会機能向上推進特別委員会 議会基本条例に規定する「協議又は調整を行うための場」として位置付けをしている。

議会基本条例に規定する事項の検証に関すること

議会機能向上に関すること

政策提言及び政策立案の推進に関すること

- 議会基本条例の制定と検証

「開かれた議会」「言論の府・立法の府」の条文を中心に制定。

条例制定から 7 年が経過し、当選後 2 年が経過し、議会全体の動きが見えてきたこと、議員任期最終年に向けて基本条例を再認識し、議会活動に繋げていくために評価・検証を進める。

検証体制や経過の流れは長浜市議会とほぼ同じ。

課題として以下

☆議員間討議の活性化や政策立案に向けた取り組み

☆ICT を活用した更なる情報公開・情報共有の取り組み

☆市民等の傍聴の促進に関する積極的な取り組み

課題の解決方法として以下

☆条文の見直し検討

☆議員研修の充実

幅広い研修、常に議員間討議を意識、ICT や政策形成研修を積極的に！

↓

「クールダウンミーティング」の実施

どのような視点で審査したか、審査を通じてどのような感想を持ったかなどをお互いに認識する機会とする。実施日は特別委員会審査終了後 30 分程度。ルールとして進行は議会機能向上推進委員会委員長が実施、侮辱や感情的な発言、否定はしない、相手の立場に立ち、それぞれの考えを理解した上で発言する、案件に対するメリット、デメリットなどの共通認識を深める。

■事業評価の取り組み

常任委員会毎でテーマを設定し、市が実施する事業の評価を行い、必要に応じて市長に対する評価結果や今後の方向性などをまとめた「要望・提言」を行う。

事業評価シートを導入（静岡県富士市議会をモデルに導入）

↓

ツキニミーティングの実施 事業評価が難しく、予算の事前検証・決算の事後検証に向けて、駒ヶ根市施策の現在地（現状、課題、方向性など）を横断的に把握するとともに、第 5 次総合計画の実現に向けて必要に応じて要望・提言を行う。

■市民との意見交換会について

議会基本条例に基づき、毎年実施（令和 5 年度で 13 回）市内公民館（3 か所）出前講座（子ども未来会議の取り組み）

次代を担う子どもたちがまちづくりや議会への理解を深め、若い世代の視点でまちづくりについて考える機会を作るために実施。

事前学習→本会議 「こんな駒ヶ根市にしたい」をテーマに市政に対する要望や意見を考え、市へ提案した。

■議会だより・議会広報モニター

「駒ヶ根市議会だより」が市民との結びつきをより強め、市民意見を議会だより編集や議会活動に反映、議員選出 16 名、公募 1 名で実施中。

内容はアンケートやモニター会議を通じて議会だより編集や議会活動全般について提言を行う。

■女性議員比率が高い要因について

市の男女共同参画計画の改訂を女性議員で設立した「女性議員連盟」と担当課で内容を検討する機会を設けた。

飯田市、伊那市、駒ヶ根市で女性議員による広域連携の取り組みを進めている。お互いに情報交換しながら、視察や勉強会を実施。

議員間討議の必要性を感じ、女性の視点からクールダウンミーティングやツキニミーティングが生まれた。そういった変化があった。

U ターンや J ターンなど駒ヶ根市議会で女性が活躍することにより地域活性化に繋がるのではないか

